

グリーンハート

No. 110 6月号 発行日 平成27年6月20日



第26回「みどりの愛護」のつどいに参加して ～三苦松林再生会～

《三苦松林再生会会長 堀内秀毅さん》

5月30日（土）宮崎県総合文化公園での表彰式に参加する旨を聞き、観光旅行感覚で前日の29日より、代表3名と緑のまちづくり協会の安重さん同行のもと出発しました。

到着後、思いもよらず、前会長“堺 勲氏”の友人の案内で日南海岸をドライブ。沿道にはフェニックス並木が続き、眼下には日南灘を望める随一の景勝地“堀切峠”に到着。その後、鶴戸神宮まで足をのばし、翌日の式典に臨みました。

今回の参加予定1,100名、皇太子殿下もご臨席されるとの事で、街は前日からの厳戒態勢…。当日、表彰式会場での厳粛な空気を感じた時に、初めて今回の受賞が如何に名誉な事であったかを改めて実感しました。

ウェルカム演奏に始まり、宮崎県各地から集まった演技・演奏による伝統芸能を堪能した後、厳粛な式典が開催され、全国87団体の受賞者の方々と喜びを共にいたしました。恒例の植樹祭も無事終了し、その後、無料シャトルバスでの綾コースに乗車。バスガイドの素晴らしい案内にしばし酔いしれ、大吊り橋を渡りながら照葉樹林のパノラマを鑑賞後、雲海酒造を見学し、宮崎を後にしました。

思えば、平成9年に三苦地区の塩害防止と、自然環境の維持管理を目的として「三苦松林再生会」が結成され、先人のご苦勞の中で引き継ぎ、引き継がれ現在に至っています。

今回の受賞が一層の励みとなり、継続への新たな活力となった一方で、引き継ぐ者の責任の重大さを痛感している所であります。

これからも、地域住民が一体となって、「つなげていく、続いていく」を合言葉に、自然環境を守り続け、次世代に何としてもこの松林を残していきたいと願っている所です。

東区三苦地区で活動されている地域の森づくり活動団体「三苦松林再生会」が第26回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰を受賞され、5月30日（土）宮崎市で開催された式典に出席されました。

目次

- ・「みどりの愛護」のつどいに参加して～三苦松林再生会～ 1
- ・アクロス山の樹木ウォッチングを開催 2
- ・那珂川町 町民によるゴーヤ種まき 3
- ・瑞梅寺材木ツネカミツを守る会に参加して 3
- ・コンテナガーデンづくり 4
- ・てらす花壇サポート隊大募集 4
- ・緑のコーディネーターによる体験講座
・バラを楽しもう 5
- ・緑のコーディネーター養成講座開講 5
- ・地域の森・花づくり活動支援事業認定団体下半期受付 5
- ・ふくおか花と緑の連絡会から講座のお知らせ 6
- ・植物園からのお知らせ 6

記事投稿のしかた

本誌に記事を載せたい方は事務局にご連絡の上、記事内容を書面（メール可）で提出してください。7月号（7月20日前後発行）への投稿締切は7月10日です。

（発行元／事務局）

福岡市住宅都市局
みどりのまち推進部
みどり推進課
TEL 7 1 1 - 4 4 2 4
FAX 7 3 3 - 5 5 9 0

（公財）福岡市緑のまちづくり協会 みどり課
メールアドレス：
anjyu.t@midorimachi.jp
TEL 8 2 2 - 5 8 3 2
FAX 8 2 2 - 5 8 4 8



会場入口



記念植樹した「ソメイヨシノ」の前で
左から会計・前会長・会長の3名で出席

アクロス山の樹木ウォッチングを開催 (活動報告)

～ふくおか花と緑の連絡会 (はなのれん)～

《緑のコーディネーター 大久保 聡さん》

去る5月23日(土)、アクロス山ことアクロス福岡のステップガーデンで、25名の参加者の方々と約1時間、樹木ウォッチングを楽しみました。

主催は、緑のコーディネーター6期生有志により、この4月に結成したばかりの「ふくおか花と緑の連絡会」(通称「はなのれん」)です。

アクロス山は、階段総数809段、屋上の展望台の高さは約60m(地上14階)あります。昭和56年(1981年)に福岡県庁が東公園へ移転した後に天神中央公園が造られ、その14年後、平成7年(1995年)にアクロス福岡が竣工しました。

樹木は、現在約120種、50,000本程あると言われています。(竣工当初は、76種、37,000本でしたが、鳥により種が運ばれ現在の数になったということです。)

ここには、街中ではなかなかお目にかかれない珍しい木がたくさんあります。たとえば、最近マスコミを賑わしておられる秋篠宮家第二女子・佳子様のお印の花である「オオハマボウ(大黄槿)」(沖縄や奄美地方での呼び名は「ユウナ」)、日本では材が柔らかく折れやすいため役に立たないという意味で食用にならない魚の名前がついた「ゴズイ(榿瑞)」(しかし、英国では、ハート型の真っ赤な花が咲くことから「スウィートハート・ツリー(恋人の木)」と呼ばれています。)、実が甘くジューシーで、若葉が蚕の餌となるヤマグワ(山桑)、クルミの一種ですが、残念ながら食用にはならないサワグルミ(沢胡桃)などなど。

そんななかで、特筆すべきは、イヌビワです。(私が、今回の樹木ウォッチングで一番感動したのはこの木でした。)

イヌビワは、驚きの種の生存戦略をとっています。ビワという名はついてますが、イチジクと同属でそれとよく似た実をつけます。

しかし、これがなんと花なんです。実の中に花が咲きます。しかも、雄花と雌花が別株の雌雄異株です。しかし、それでは、どうやって受粉するのでしょうか。

実は、イヌビワコバチという小さなハチが共生関係にあり、雄花で孵化した雌バチ(雄バチは交尾すると文字どおり目の目を見ることなく死んでしまいます。)が雌花へ花粉を運び、受粉します。

しかし、雌花はめしべの柱頭が長く、雌バチの産卵管の方が短く届かないため、卵を産み付けることができません。(雄花に入った雌バチは産み付けることができます。)雌バチは目的を果たさずに一生を終えることとなります。雌花で孵化されても雄しべから雌しべに花粉が運ばれないからでしょう。恐るべし、イヌビワの戦略…。とまあ、なかなか面白い自然界のしくみです。

今回のイベントは、「はなのれん」結成後の記念すべき第一回目のイベントでした。今後、毎月一回、警固公園の安全安心センター等でイベントを予定しています(6/27は「プリザーブドフラワー&ドライフラワーのone coin講座」、7/25は「押し花でエコうちわづくり」)。詳しくは、毎月発行されるグリーンノートに掲載していただく予定ですので、どうぞご覧ください。(6ページをご参照ください)



アクロス全景



オオハマボウ



ゴズイ



サワグルミ



イヌビワ



観察会の様子

那珂川町 町民によるゴーヤ種まき ～主催：那珂川町役場環境課～（活動報告）

《緑のコーディネーター 山川昇一さん》

4月25日（土）爽やかな風が吹き抜ける中、那珂川町役場環境課主催の町民を対象にしたゴーヤ及び、アサガオの種まきイベントが役場の広場で開催され、手伝いに行ってきましたので、その様子をご紹介します。

- 【日 時】 4月25日（土）9時～12時
【場 所】 那珂川町役場庁舎広場
【種まき】 ゴーヤ…約300粒 アサガオ…約300粒
【講 師】 山川昇一
【参加人数】 那珂川町民 15人



ゴーヤの種植え付け風景

種まき後ジョロで灌水

イベントには、老若男女15人程の町民が参加し、種まきを体験しました。種まき用土は、昨年使った古い土、牛糞堆肥、腐葉土を6, 2, 2の割合で混ぜ、苦土灰を適量入れました。

当日は、二日前に湿らせておいたゴーヤとアサガオの種を約300粒ずつを役場が準備。種まきは下記の手順で行いました。

- 1.ポット籠に3号ポットを24個並べ土を入れる。
- 2.種まき前にジョロでポットにタツプリと灌水。
- 3.ゴーヤ、アサガオの種を1粒ずつ全ポットに置く。
- 4.置いたら種を一齐に深さ約5ミリに埋め土を覆う。
- 5.その後ポットに再度灌水。

「種は硬い、アサガオとゴーヤ種は大きさが違う、いつ芽がでるのかなあ」などの会話が弾む中、約600粒の種まきは11時頃に終了しました。

参加者からは、「芽が出るのが楽しみ、種まきは初めての経験」などの声が聞かれました。発芽した苗は後日、町民に無料配布されるとのことです。

※5月14日に発芽の状態を確認したところ、予想通り約7割が発芽していました。

「瑞梅寺オオキツネノカミソリを守る会」に参加して（活動報告）

《緑のコーディネーター 森口正一さん》

井原山はオオキツネノカミソリ西日本一の規模を誇る群生地として知られ、7月下旬から8月初旬にかけて林床一面が黄一色に染まり、この花を見ようと年々多くの登山者が訪れる。

「瑞梅寺オオキツネノカミソリを守る会」は、毎年7月初旬、この花の季節を前に地域の人々と交流を図りながら登山道の整備や清掃活動を行って今年で15年になる。発足当時、群生地に設置したベンチが朽ち掛けており、節目の今年にはベンチを新たに作り直すことにした。材料は井上会長が三年前に伐り出した杉の丸太を利用し、麓（瑞梅寺・ふるさと体験館のぞみ）で加工し、7月4日に現地へ担ぎ上げて組み立てる計画。

5月16日、小雨の残るなか18名が参加しベンチ作りの下準備作業にあたる。会長の指示のもとテントを組立て早々に作業につく。用意された杉の丸太を玉切りして、玉切りした材は皮を剥いて防腐剤を塗って…

チェーンソー、電動カンナ等の操作も、習いながら事故もなく無事終了。

作業後は心づくしの弁当をご馳走になりながら自己紹介を交えた近況報告するなど旧知を温めました。

次回の据え付け作業は体力勝負です、その日に備え無理せず体を鍛えましょう。テルテル坊主もお忘れなく。会長の言葉を胸に刻んで…

*緑のコーディネーター

岩田登、高井カホル、森口の三名が参加



コンテナガーデンづくり ～みんなで作ろう花のオブジェ～ (活動報告)

《緑のコーディネーター 高井カホルさん》

【日 時】5月17日(日) 11:00～12:30

【場 所】夜須高原記念の森(朝倉郡筑前町)

【参加人数】51名(子ども30人・大人21人)

夜須高原記念の森は、福岡市内から1時間位で行くことができ、緑がきれいな山の中にあり、広くて空気がおいしいホッとする所でした。近郊の方はもちろん、遠方からの家族連れも多く、沢山の人で賑わっていました。

公園管理をしている九州林産株式会社より、コンテナガーデンづくりをするからとの依頼で行ってきました。

入園と同時に受付を開始し、11時前の放送で管理センター前に集合してもらい、作業の手順と花植えの方法等を説明しました。

初めに園の入口に“ウエルカム ヤス”のプレートを親子で取り付け、みんなで記念撮影をして、それぞれの番号があるコンテナガーデン(15個)に移動してもらい、現在ピオラが植えてあるのを除去。

(持ち帰りOK)

土を除き新しい用土を入れ、準備が出来たところで、それぞれのイメージを考えて花苗を仮置きし、良かったら植え付けてもらいます。花の種類は13種で、その中から5～6種を選んでそれぞれのコンテナに植えました。

花を植えた後、ジョロで水をやり完成です。家族で記念撮影を行いました。

・土を取り除く時点で子ども達は土いじりとミミズ、ダンゴムシが好きでなかなか完成しない花壇もありました。

・子どもさん5人で仲良く上の子が下の子を思いやり、また下の子は上の子を思いやり、家族で花壇を作りあげられたのに感動しました。

・花を初めて植える方もあり、花を通して家族が楽しんでありました。

皆さんの花壇の出来上がり、とっても素晴らしいものでした。



「てらす花壇サポート隊大募集♪」

～緑のコーディネーターの皆さまへお知らせ～

多くの来街者を迎える天神の花壇をフィールドに、てらす花壇サポート隊として活動してみませんか? まちなかの花壇の役割、デザインの成り立ち、植物の特性について、花壇のお手入れをしながら、一緒に学びましょう。てらす花壇のデザインに興味がある方の参加も大歓迎です。

「てらす花壇」とは?

企業等の皆さまからのご協賛により、天神、博多のまちなかを色とりどりの花で照らし、演出する取り組みです。現在、警固公園、天神交差点パルコ前、市役所玄関、こくてつ通り(キャナルシティイーストビル)の4箇所に設置されており、花壇デザインは緑のコーディネーターによるものです。

- ・活動日: 毎月第1火曜日 午前10時～1時間程度(予定) 不定期参加も大歓迎
参加を希望される方は下記「お問合せ先」までお申込みください。
- ・集合場所: 市役所玄関
- ・募集対象: 福岡市緑のコーディネーター
- ・持ってくるもの: 軍手・剪定鋏・ごみ袋
- ・活動内容: てらす花壇のお手入れ(花柄摘み・除草・宿根草の剪定など)
- ・お問合せ先: 福岡市緑のまちづくり協会みどり課 倉橋 Tel822-5832



市役所玄関



パルコ前



警固公園

緑のコーディネーターによる体験講座

■バラを楽しもう

(活動報告)

《緑のコーディネーター 渡辺しおみさん》

【日 時】5月21日(木) 14:00~16:00

【場 所】早良市民センター 実習室

【講 師】渡辺しおみ・石井康子・西村愛子

【参加費】2,000円

まずは、入口にワイルドローズのアロマオイルを焚いて、受講生の皆さまをバラの香りでお迎えしました。

本日のテーマは『バラを楽しもう』という事で、「フラワーアレンジメント」「寄せ植え」「バラを味わう」と、3人で担当しました。

最初に渡辺が担当で、バラを2種入れた「フラワーアレンジメント」を制作しました。BOXにオアシスを入れ、箱からあふれ出すように、自由にアレンジメントを楽しんでいただきました。

その次に、石井さんによるバラ咲きのペゴニアとミスキャンタスの「寄せ植え」を制作しました。寄せ植えにはコツがあり、苗の抜き方、高さの調整、土の加え方とポイントを説明しながら、丁寧に作っていきました。

最後は西村さん担当で、バラを味わってもらおうと、お水に香り高いダマスクローズを加えたバラ水と、そのローズで作られたバラジャムがふるまわれました。

今回の講座では、まず「アロマ」で香りを楽しんでいただき、「アレンジメント」では作って鑑賞する楽しみ、「寄せ植え」では育てる楽しみ、最後に「バラを味わう」楽しみと、五感をふるに使う『バラ』を楽しんでいただきました。

参加者の皆さまからは「内容が盛りだくさんで、バラを楽しみました」と、たくさんの感謝の言葉をいただきました。



フラワーアレンジメント



寄せ植え



バラ水とバラジャム

緑のコーディネーター養成講座開講

2年に1度開催される「緑のコーディネーター養成講座」が6月9日(火)から始まりました。

今年度は46名でスタートし、受講生の皆さんからは、次々と質問があり意欲を感じました。後半の自己紹介になると笑顔ですっかり打ち解けた様子でした。

先輩コーディネーターさんの応援をよろしくお願いいたします。



地域の森・花づくり活動支援事業 認定団体 下半期受付

当協会が推進しています“地域の森・花づくり活動支援事業”を広く活用していただけるよう、下半期の認定団体の申請を下記のとおり受付けます。

申請期間は
7月1日(水)から7月30日(木)までです。

●詳しい内容は下記までお問合せください。

【お申込み・お問合せ】
(公財)福岡市緑のまちづくり協会 みどり課
安重(あんじゅう)
TEL: 822-5832
FAX: 822-5848



アクアコート自治会
花倶楽部の春の花壇

緑のコーディネーター・緑の活動団体からのお知らせ（情報提供）

「ふくおか花と緑の連絡会」（はなのれん）から講座のお知らせ

※「福岡市緑のコーディネーター養成講座」6期生有志で結成した市民団体です。

■フリザーブドフラワー&ドライフラワー one coin 講座

～かわいいドアかざりを手作りしてみませんか？～

【日時】6月27日（土）13:00～14:30

【会費】500円

【定員】先着20名

【締切】6月26日（金）

お申込み・お問合せ

担当：伊藤 090-9720-1767



- 両日とも下記の場所で行います
- 警固公園安全安心センター
福岡市中央区天神2-2-31



- 緑のコーディネーター
緑の活動団体の皆さまへ
- ・会員募集 ・イベントのお知らせ
- ・お出かけ情報など…
掲載記事を募集しています。

■押し花でエコうちわ

～省エネ、ECO(エコ)時代…～

うちわの骨は、竹… 紙は、和紙… その中に押し花… オリジナルのうちわをつかって、夏を乗り切りましょう。

【日時】7月25日（土）10:30～12:00

【会費】800円

【定員】先着15名

【締切】7月10日（金）

お申込み・お問合せ

担当：上床 FAX:092-671-7179

E-mail:

haru22shino@q.vodafone.ne.jp



福岡市植物園からのお知らせ（情報提供）

こんにちは福岡市植物園です。

梅雨に入り、アジサイが映える季節になりました。

植物園ではヤマアジサイやガクアジサイといった様々なアジサイが開花しています。現在特に花数が多いのは、つる性のアジサイ、イワガラミ「ムーンライト」です。

花木園Cの園路沿いに植えていますので、ぜひ見にいらしてください。

また、6月9日にハーブボランティアの方々で植物園のエントランスのコンテナ花壇とハンギングバスケットの花の植え替えを行いました。

夏仕様にリニューアルした植物園へ是非いらしてください。



イワガラミ「ムーンライト」



植え替えの様子

○展示会

- ・写真基礎講座受講者作品展 6/23（火）～7/12（日）
- ・こどもスケッチ大会作品展 7/14（火）～10/12（月）
- ・アサガオ展 7/22（水）～8/30（日）

○講座

- ・ハーブの効用 8/5（水）開催（×切7/22（水））
- ・押し花教室（連続4回） 8/11, 9/8, 10/6, 11/10（火）開催（×切7/28（火））

○観察会

- ・旬の植物ガイド 7/18（土）開催（×切7/4（土））

☆植物園ホームページ <http://botanical-garden.city.fukuoka.lg.jp/>

※今年の6月で福岡市植物園は開園35周年を迎えました。

